

微生物由来のピルビン酸キナーゼ

Cat. No. NATE-1720

Lot. No. (See product label)

はじめに

『明 ピルビン酸キナーゼは解糖系に関与する酵素です。これは、ホスホエノ―ルピルビン酸

(PEP) からADPへのリン酸基の移動を触媒し、1分子のピルビン酸と1分子のATPを生成しま

す。

別名 EC 2.7.1.40; 9001-59-6; ホスホエノールピルビン酸キナーゼ; ホスホエノールトランスホス

ホリラーゼ; ピルビン酸キナーゼ (リン酸化); フルオロキナーゼ; フルオロキナーゼ (リン酸化); ピルビン酸キナーゼ; ピルビン酸ホスホトランスフェラーゼ; ATP:ピルビン酸 2-O-ホスホ

トランスフェラーゼ

製品情報

由来 微生物

形態 白い粉末、凍結乾燥された

EC番号 EC 2.7.1.40

*CAS*登□番号 9001-59-6

分子量 68 kDa (SDS-PAGE)

活性 >200U/mg タンパク質

等電点 5.2

pH安定性 5.0~10.0 (37℃, 20時間)

最適pH 7.5

熱安定性 < 60℃ (pH 8.5, 20分)

最適温度 65℃

ミカエリス定数 1.1mM (ADP) 2.2mM (PEP)

阻害剤 Ag+, Hg2+, Co2+, Fe3+

単位定義 1ユニットは、pH 7.2、30℃で、1分あたり1マイクロモルのホスホエノールピルビン酸をピ

ルビン酸に□換します。

備考 研究用のみを目的としており、人間、治療または診断用途には使用しないでください。

保管・発送情報

保存方法 -20°Cで保管してください。